

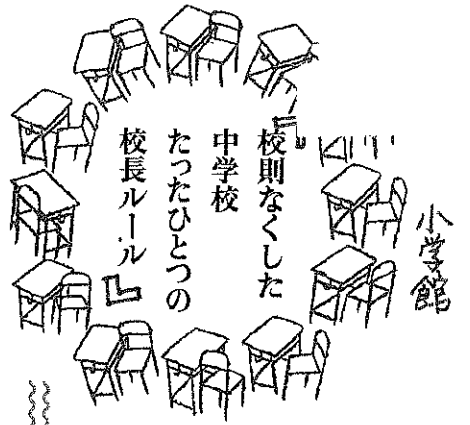
# ウッドペッカー

青森県教組養護教員部2020.10.23.

署名178筆(10%)  
集まっています。おまだ  
受けつけます。よろしく。

## すべての生徒が楽しく過ごせる学校づくり 西郷孝彦氏の 本の紹介

(10年で校則をなくした世田谷区立桜ヶ丘中前校長)



夢中で読みました。読み進んでいくうちにもう一度学校で仕事をしたいと思いました。私にもできそうなことがあったのです。目の前の子どもたちが、楽しく幸せに生きるために教師はどうしたらよいのか、それを教えてくれた本でした。希望の書です。ぜひお手元に置いて繰り返しお読み下さい。さて、11月7日(土)に著者にお会いできます。(左の下の欄参照)

### 折々ことば

鷗田 清一 1934

のぞみはありませぬが  
ひかりはありませぬ

新幹線の駅員さん

千葉・本妙寺の掲示板にあった言葉(江田智昭著『お寺の掲示板』所収)。臨床心理家・河合肇雄が残したジョークから引かれた文言。河合が新幹線の切符を買おうとしたら、駅員にこう言われた。瞬間、この言葉の深い含蓄に感激し、同じ言葉を大声で返すと、駅員は「あっ、『ご言葉』が帰ってきた」とつぶやいたという。希望をなくしても仏様の光はずっと人を照らしている。

2020・9・13

### お元気ですか。

津軽地域はコロナ急増で、皆さんも神経をつかわれていることと思います。過度にならない、でも緊張感を持って…。難しいことですね。

アンケートのまとめ送ります。回答者は24名です。数が少なくてちよつと残念な気がしましたが、今の学校・子どもたちの様子がみえてきました。御協力ありがとうございました。

でも毎年、桜丘中学校の1年生の教室では、これが普通です。教員は、大きな声を出したり、威圧的態度はとりません。桜丘中学校の1年の教員たちは、ゆつくりと子どもたちの成長を見守ります。ここで、頭ごなしに叱ってしまうと、表面上は大人しくなりますが、心を閉じてしまい、信頼関係を築けなくなるのです。しかしゆつくり長い目で愛情をかけていると、2年、3年と学年が上がるたびに落ち着いていく。そのことを教員たちはわかっています。子どもたち自身が生まれながらに持っている「よく生きよう」というプログラムが発動するのを待っています。

毎日1回、全校のクラスを回るとは、私の日課です。何人かの生徒が、私に気づいて手を振ってきます。気になる子には、授業中であつても声をかけて、様子を探ります。最近では会議への出席や打ち合わせでなかなか回れないことも増えましたが、最低1回は回るように努力しています。

### あおもり教育のつどい2020

2020年11月7日(土)12:30~17:30 県教育会館にて

- 全体講演 13:00~15:00 西郷孝彦氏(テーマは右上に書いてます)
- 分科会 15:20~17:30 「コロナ禍と保健室」  
この時、アンケートについても話し合います。コロナについての記入がたくさんありました。アンケートを持参して下さい。
- 参加費 1,000円(未組の方も、Kです。ぜひおいで下さい)
- マスク着用にご協力下さい。受付で検温を行います。37.5℃以上の方は参加できませんのでご了承下さい。

私は西郷先生にお会いするのがとても楽しみです。

こんな ときどき 久しぶり



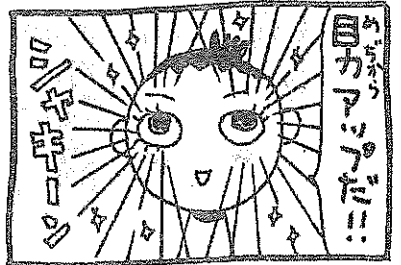
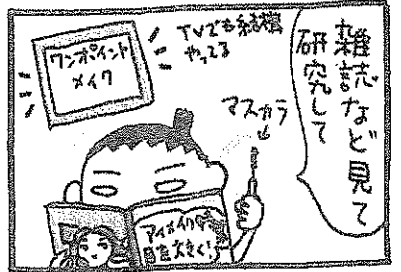
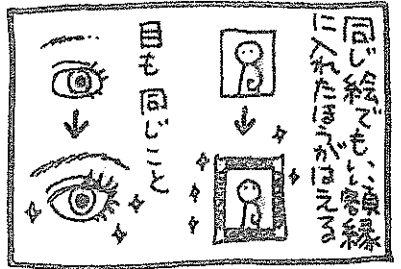
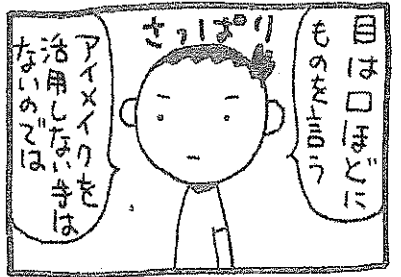
お知らせしたいのが、黒石の商店街には「AKBの来る店」があり、その中には「原宿コーナー」があります。手作りファッションの店ノールです。先日友人と出かけて大いに楽しみ、アクセサリーを買いました。皆さんもぜひお立ち寄り下さい。「A(あつちや)K(からちや)B(いばちや)の来る店」で「腹熟(いっつりふく)ふく(よか)コーナー」があります。



文責 阿部陽子 スマイルサポート(017-722-3749)

アイメイクはちゃんとする。

CHECK IN



初めて会う人でも、親しい人でも、顔を合わせたときに一番最初に見るのは、圧倒的に目ではないでしょうか。

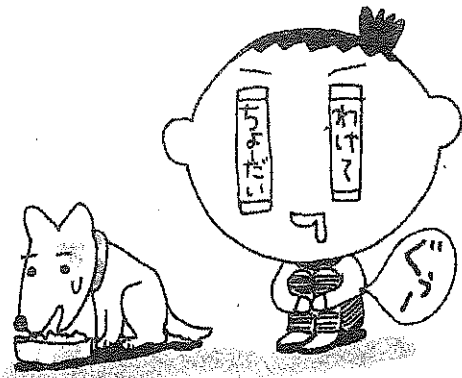
「目は心の窓」って言いますよね。目は自分の内面が表に出る場所でもあります。だからか、目を使った表現も多いです。

「目は口ほどにものをいふ」「目からうろこが落ちる」「目から鼻にぬける」「目が据わる」「目が血走る」「目がくらくらする」

すくなく目が大きくてまつげがばさつばさつと長い人でも、人間の中身がからっぽだったら死んだ目になるし、逆に何か目標を持っていてチャレンジしている人の目は、たとえ小さくてもキラッキラツと光り輝いています。

せっかくだから、目をキレイに印象的に見せましょう。自分の中身を充実させるのはもちろん、さらにそれを引き立ててあげられるように、アイメイクを心がける。まゆを整え、アイライン、アイカラー、マスカラなど。やり過ぎず、自分が一番ナチュラルにキレイに見えるように研究です。

目は心の窓  
どんな主張も  
ここから



「キッパリ」

●カラダから、外見から、変えてみる!

ノーメイクでもアイブローとマスカラで、目を生かそう。



あんずちゃん  
田中しょう

